

《 小野連携型小中一貫校便りNo.6 R 4 / 3 / 1 0 》

ま な び や

小野の学舎



文責

藤岡市立小野小学校
藤岡市立小野中学校

校長
校長

村田仁志 (22-2546)
大倉 猛 (24-0104)

第2回学校運営協議会評価部会・連携推進部会を開催しました。

3月3日（木）に小野中学校で、連携推進部会と評価部会をそれぞれ開催しました。

当初は学校運営協議会の開催を予定していましたが、まん延防止等重点措置の適用期間が延長されたことにより、急遽計画を見直し、時間をずらして少人数での部会を開催することとしました。また、広報部会は「小野の学舎」及び「おのハンモックだより」が計画通りに発行できていることから、広報部委員には、評価部会と連携推進部会のどちらかに出席いただき、感染症に配慮して実施しました。

部会では、「育成アクションプランの改訂」と「第2回学校評価の分析と考察」が主な熟議の内容でしたが、それぞれの委員から建設的で実行可能なご意見をたくさんいただき、今年度の成果と反省及び次年度に向けた改善点が明らかになりました。『2022年度版「夢に向かってかがやく子」育成アクションプラン』は次年度早々に発行いたします。地域の皆様には、いつもご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。次年度もよろしく願いいたします。両部会で出された意見の概要を紹介します。

＜ 連携推進部会 ＞ 「育成アクションプラン」の改訂について熟議しました。

2022年度版「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランの原案の内容や文言について、様々な角度から検討を行いました。学校運営協議会委員から出された意見のいくつかを紹介します。

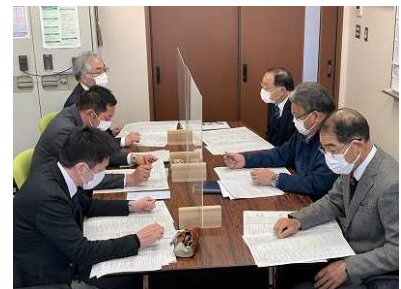
- ・今後も感染症対策を継続していくことを考慮すると、地域の行事等の開催が難しくなる。そうすると子供や高齢者を含めた地域コミュニティの構築が大切になる。次年度は、それも含め「新アクションプラン」の周知と活用を進めるとよい。
- ・地域の大人も近所の子供の顔を見て、ちょっとした声かけやあいさつを続けていくことで、子供から認知される。その積み重ねが大切ではないか。
- ・地域や保護者の取組について、どのように周知と活用を進めるか、次年度の学校運営協議会で協議し、様々な工夫をしながら進めるとよい。



＜ 評価部会 ＞ 「第2回学校評価」について熟議（分析と考察）しました。

昨年12月に行った「第2回学校評価」の分析と考察を行いました。小野連携型小中一貫校の子供のよい点や改善点、新しく質問項目に加えたほうがよい内容についてなど、貴重なご意見をいただきました。学校運営協議会委員から出された意見のいくつかを紹介します。

- ・子供の読書習慣作りのために「ビブリオバトル」やお昼の放送を使った「おすすめの一冊紹介」等、ちょっとしたきっかけ作りを行ったらどうか。
- ・「図書を活用した授業づくり」については、タブレットとだけでなく、図書を使った本質を見いだす調べ学習が必要ではないか。
- ・あいさつについては、よくできている。やはり地域の大人が率先してあいさつすることで、さらに子供たちによさを伝えていきたい。
- ・親も教師も子供の目を見て話し、会話の数を増やしていくことが大切である。
- ・昨今、子供たちがSNSに深入りしすぎている状況が見られ、いじめの温床になっている。SNSの使い方等について十分指導し、質問項目に加えてはどうか。





おのハンモックだより

No. 6

地域学校協働本部/地域コーディネーター R4.3.10 発行



更生保護女性会の皆さん

秋の気配も薄らぎ冬の寒さが感じられるようになった昨年11月後半、小野公民館にて更生保護女性会の方々によるまゆ花コサージュ作りが行われました。更生保護女性会の皆さんは毎年小野中3年生へ卒業式で胸につけるコサージュを贈呈してくださっています。

今年も様々な思いを込めて花を選び、デザイン・色を決め、とても素敵な「手作りの一品」を作成してくださいました。

今年度は3月11日、卒業生たちはオレンジ色のバラの花を胸に飾り3年間過ごした学び舎を巣立っていきます。

さて、このまゆ花ですが、作るのにとっても手間がかかっていることをご存じでしょうか。染めたまゆ玉に切り込みを入れて開き、薄く3枚に分けていきます。竹串やピンセット等先のとがったものを使ってはがすのですが、無理に引っ張るとちぎれてしまいます。根気のいる作業を繰り返し、花びらの端は楊子などで外巻きクセをつけ、芯を通し3輪まとめてバランスよく束ねていきます。以前私もお手伝いしたことがありましたが、1つ仕上げるのに1時間以上かかってしまいました。



前私もお手伝いしたことがありましたが、1つ仕上げるのに1時間以上かかってしまいました。

このような手間のかかったコサージュには、9年間共に学んだ友達と別れ、新たな環境へと踏み出していく卒業生を応援したいという更生保護女性会の皆さんの思いが込められているのではないのでしょうか。人生の一つの節目でもある義務教育の卒業、この機会にこれまで支えてもらった多くの方々への感謝の気持ちを持って巣立っていったら幸いです。

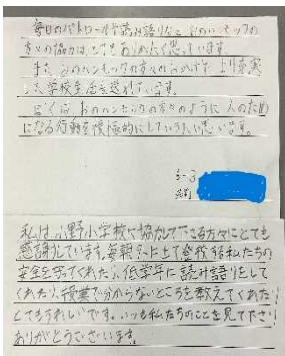
(〇〇 〇〇)



~~~~~



## 児童からの感謝の気持ちです!(^^)!



3学期もあとわずかとなりました。今学期も新型コロナ対策として学校内でのボランティアの活動はほぼありませんでしたが、子どもたちはボランティアの方々への感謝の気持ちを忘れてはいません！ 道徳や学活等の時間に日頃思っていることなどを書く機会があります。中にはお世話になっているボランティアさんにお礼の言葉を書いていた児童がいました。なかなか皆さんにお伝えすることができませんが、小野小学校の児童のみんなはボランティアさんへの感謝の気持ちを大事にしています。

コロナとの共存はまだまだ続きそうですが、地域と学校を繋ぐボランティアが以前のように気軽に学校へ行ける、そんな日に早く戻ってほしいですね。

(〇〇 〇〇)

